

平成20年10月3省合同審議会

既存化学物質審査物質
(人健康影響・生態影響)
に係る分解性・蓄積性データ

既存化学物質安全性点検データ

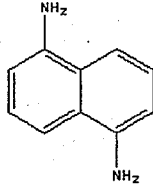
データの説明 分解性 濃縮性

経済産業公報(平成13年1月5日以前は通産省公報)公表内容

公表名称	公表年月日	点検結果
1,5-ジアミノナフタレン	平成元年12月28日	蓄積性がない又は低いと判断される化学物質

物質情報

構造式



CAS番号	2243-62-1
点検対象物質名称	1,5-ジアミノナフタレン
官報公示整理番号	官報公示名称
4-323	1,5-ジアミノナフタリン

分解性

判定	難分解性
試験方法	標準法

試験装置	試験期間	試験物質濃度	活性汚泥濃度
標準	4週間	100ppm	30ppm

間接測定	BOD	直接測定	HPLC
	0%		3%

濃縮性

判定	低濃縮性
試験方法	濃縮度試験

48TLm値(48hr)	魚種
31.5mg/L	ヒメダカ

試験装置	試験期間	魚種	脂質含量(%)
標準	6週間	コイ	3.8

	濃度設定	濃縮倍率
第1濃度区	200µg/L	<0.4 ~ 1.5
第2濃度区	20µg/L	<4.5

総合検索システムへ
2243-62-1

[前画面に戻る](#)

既存化学物質安全性点検データ

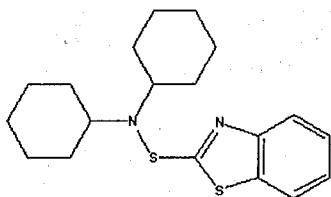
データの説明 分解性 濃縮性

経済産業公報(平成13年1月5日以前は通産省公報)公表内容

公表名称	公表年月日	点検結果
N, N-ジシクロヘキシル-1, 3-ベンゾチアゾール-2-スルフェンアミド [官報公示整理番号: 5-256] [CAS番号: 4979-32-2]	平成17年12月22日	難分解性かつ高濃縮性であると判断される物質

物質情報

構造式



CAS番号	4979-32-2
点検対象物質名称	N, N-ジシクロヘキシル-2-ベンゾチアゾリルスルフェンアミド
官報公示整理番号	官報公示名称
5-256	N-モノ又はジシクロヘキシル-2-ベンゾチアゾリルスルフェンアミド

分解性

判定	難分解性
試験方法	標準法

試験装置	試験期間	試験物質濃度	活性汚泥濃度
標準	4週間	100mg/L	30mg/L

間接測定	BOD	直接測定	HPLC
	0, 0, 0 (0%)		4, 6, 0 (3%)

濃縮性

判定	高濃縮性
試験方法	濃縮度試験

48TLm値(48hr)	魚種
>130mg/L	ヒメダカ

試験装置	試験期間	魚種
標準	8週間	コイ

	濃度設定	濃縮倍率
第1濃度区	1000µg/L	15 ~ 80
第2濃度区	100µg/L	74 ~ 316
第3濃度区	10µg/L	331 ~ 916

備考

・第1濃度区は10週間で試験を終了した。
[脂質含有量]
第1, 2濃度区 3.9%
第3濃度区 4.0%

	濃度設定	濃縮倍率
第1濃度区	1µg/L	1150 ~ 3950
第2濃度区	0.1µg/L	3380 ~ 7310

備考

[脂質含有量] 第1濃度区 4.0% 第2濃度区 3.7%

濃縮性2

判定	高濃縮性
試験方法	濃縮度試験

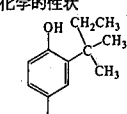
LC50値(96hr)	魚種
>250mg/L	ヒメダカ

試験装置	試験期間	魚種	脂質含量(%)	
			開始前	終了後
標準	42日間	コイ	2.58	2.1

	濃度設定	濃縮倍率(BCF _{SS})
第1濃度区	0.01µg/L	6000

総合検索システムへ
4979-32-2

[前画面に戻る](#)

整理番号 K-1759 (NEDO 334, 3-0526)		分解度試験		分解度試験		分解度試験																
2,4-ジ-tert-ベンチルフェノール (120-95-6)		事業対象年度 平成17年度		契約年月日		契約年月日																
試験期間 17.7.11~17.11.7		試験期間		試験期間		試験期間																
試験装置 (株)・揮		試験装置 標・揮		試験装置 標・揮		試験装置 標・揮																
構造式(示性式)・物理化学的性状		試験濃度		試験濃度		試験濃度																
 分子式 C ₁₆ H ₂₆ O 分子量 234.38		被験物質 100 mg/L		被験物質 mg/L		被験物質 mg/L																
		汚泥 30 mg/L		汚泥 mg/L		汚泥 mg/L																
純度 ①98.4%*1 ②99.7%*2		試験結果		試験結果		試験結果																
不純物(物質名,含有率) ①不明 1.6%*1 ②残り 0.3%は不明*2		間接 BOD -7, -6, -6 (0%)		間接		間接																
外観 黄色液体		HPLC 4, 2, 4 (3%)		HPLC		HPLC																
溶解度(対水,その他) 対水 4.59 mg/L(25℃) (フラスコ法) 5.45 mg/L(20℃) (カラム溶出法) 対テトラヒドロフラン 10 g/L以上		審査部会 第49回		審査部会 第 回		審査部会 第 回																
融点 26.2℃		17年11月18日開催		年月日開催		年月日開催																
沸点 291.5℃		判定 難分解性		判定		判定																
蒸気圧 9.49×10 ³ Pa(25℃)		備考		備考		備考																
比重*3 d ₄ ²⁰ 0.930		1.回収率 (水+被験物質)系 94.4% (汚泥+被験物質)系 95.2%		3.特記事項 ・分解度の平均値が負の値に算出されたため、0と表記した。																		
LD50*3 330 mg/kg(oral, rat)		2.実施機関 ・財団法人 化学物質評価研究機構		被験物質残留率(%)																		
IRチャートの有無 (有)・無				<table border="1"> <thead> <tr> <th>試験液</th> <th>ソララム</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>水系</td> <td>84</td> <td>84</td> </tr> <tr> <td>汚泥系-1</td> <td>96</td> <td>97</td> </tr> <tr> <td>-2</td> <td>98</td> <td>98</td> </tr> <tr> <td>-3</td> <td>96</td> <td>97</td> </tr> </tbody> </table>		試験液	ソララム	合計	水系	84	84	汚泥系-1	96	97	-2	98	98	-3	96	97		
試験液	ソララム	合計																				
水系	84	84																				
汚泥系-1	96	97																				
-2	98	98																				
-3	96	97																				
用途*5 添加剤(樹脂用・油用)、その他(電子材料等製品用)				・被験物質は一部ソララムに吸着した。																		
生産量*5 (16年) 製造及び輸入 1,000~10,000 t未満																						
試料 購入先 ①ACROS ORGANICS ②東京化成工業																						
経済産業公報発表年月日 年月日																						

*1 ACROS ORGANICS 添付資料による。 *2 東京化成工業添付資料による。 *3 The Sigma-Aldrich Library of Regulatory and Safety Dataによる。
*4 溶離液: メタノール/リン酸緩衝液(pH3.0) (3/1 v/v) *5 化学物質の製造・輸入量に関する実態調査による。 ①分解度試験 ②分配係数試験及び濃縮度試験

濃縮度試験		事業対象年度 平成19年度		濃縮度試験		年月日		毒性試験	
試験期間		19.5.11~19.9.10		試験期間		年月日		年月日	
試験装置 (株)・揮		LC50値 0.964mg/L(96hr)魚種(ヒメダカ)		試験装置 標・揮		LC50値 mg/L(hr)魚種()		依 類	
水槽設定濃度 (µg/L)				水槽設定濃度 ()				経過	
被験物質		分散剤		被験物質		分散剤			
		HCO-40				N,N-ジメチルホルムアミド			
第1濃度区		5 25 20000		第1濃度区					
第2濃度区		0.5 2.5 20000		第2濃度区					
第3濃度区				第3濃度区					
濃縮倍率		脂質含有率 開始前 4.51% 終了後 4.26% 魚種(コイ)		濃縮倍率		脂質含有率 開始前 % 終了後 % 魚種()			
		12日後 25日後 39日後 50日後 60日後				日後 日後 日後 日後 日後			
第1		水質濃度(µg/L) 4.42 4.36 4.32 4.83 5.10		第1		水質濃度()			
		倍率 220 330 420 360 310				倍率			
		220 340 450 330 340							
第2		水質濃度(µg/L) 0.454 0.460 0.421 0.454 0.473		第2		水質濃度()			
		倍率 320 320 310 410 340				倍率			
		260 220 320 320 270							
第3		水質濃度()		第3		水質濃度()			
		倍率				倍率			
審査部会 第70回 19年 12月 21日 開催				審査部会 第 回 年 月 日 開催					
判定結果				判定結果					
備考		備考		備考					
[定常状態における濃縮倍率] 第1濃度区 350倍 第2濃度区 330倍									
[回収率] 試験水 89.0% 供試魚 79.0%		[定量下限濃度] 試験水 第1濃度区 0.30 µg/L 第2濃度区 0.030µg/L 供試魚 17 ng/g							
[実施機関] 財団法人 化学物質評価研究機構									

既存化学物質安全性点検データ

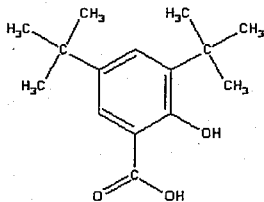
データの説明 分解性 濃縮性

経済産業公報(平成13年1月5日以前は通産省公報)公表内容

公表名称	公表年月日	点検結果
3,5-ジ-tert-ブチル-2-ヒドロキシ安息香酸 [官報公示整理番号:3-3034] [CAS番号:19715-19-6]	平成15年10月14日	難分解性と判断される物質
3,5-ジ-tert-ブチル-2-ヒドロキシ安息香酸 [官報公示整理番号:3-3034] [CAS番号:19715-19-6]	平成17年12月22日	難分解性であるが高濃縮性ではないと判断される物質

物質情報

構造式



CAS番号	19715-19-6
点検対象物質名称	3,5-ジ-tert-ブチルサリチル酸

官報公示整理番号	官報公示名称
3-3034	3,5-ジ-tert-ブチルサリチル酸

分解性

判定	難分解性
試験方法	標準法

試験装置	試験期間	試験物質濃度	活性汚泥濃度
標準	4週間	100mg/L	30mg/L

間接測定	BOD	直接測定	HPLC
	0, 0, 0 (0%)		0, 2, 0 (1%)

濃縮性

判定	低濃縮性
試験方法	濃縮度試験

LC50値(96hr)	魚種
5.82mg/L	ヒメダカ

試験装置	試験期間	魚種	脂質含量(%)	
			開始前	終了後
標準	28日間	コイ	3.38	3.02

	濃度設定	濃縮倍率
第1濃度区	50µg/L	<= 2.4 ~ 4.1
第2濃度区	5µg/L	<= 23

既存化学物質安全性点検データ

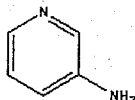
データの説明 分解性 濃縮性

経済産業公報(平成13年1月5日以前は通産省公報)公表内容

公表名称	公表年月日	点検結果
3-アミノピリジン	昭和57年12月28日	濃縮性がない又は低いと判断される化学物質

物質情報

構造式



CAS番号	462-08-8
点検対象物質名称	3-アミノピリジン

官報公示整理番号	官報公示名称
5-725	3-アミノピリジン

分解性

判定	難分解性
試験方法	標準法

試験装置	試験期間	試験物質濃度	活性汚泥濃度
標準	4週間	100ppm	30ppm

間接測定	BOD	直接測定	TOC	HPLC
	0%		1%	0%

濃縮性

判定	低濃縮性
試験方法	濃縮度試験

48TLm値(48hr)	魚種
8.1ppm	ヒメダカ

試験装置	試験期間	魚種	脂質含量(%)
標準	6週間	コイ	5.7

	濃度設定	濃縮倍率
第1濃度区	200ppb	<0.2
第2濃度区	20ppb	<2.1

総合検索システムへ
462-08-8

[前画面に戻る](#)